

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【木崎中学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p>【学習上の課題】学年・学級により定着度に差がある。</p> <p>【指導上の課題】習得した知識・技能を活用する学習活動を全体で設定しにくい。自主的に学習の計画を立て、生徒が主体的に学習に取り組む場面を確保していく。</p>	⇒ 昨年度は朝の学習時間を読書とスタディサプリを日を決めて行っていたが、今年度は朝チャレンジとし、生徒が自ら学習計画を立て、主体的に取り組む力を育てる。【R6さいたま市学習状況調査「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が55%以上】。
思考・判断・表現	<p>【学習上の課題】「思考・判断・表現」の特に活用問題の無回答率が高い。</p> <p>【指導上の課題】「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」のうち「考えを引き出し、思考が深まる発問」「言語活動の充実」「資料の収集、読み取り、活用」を重点とした学習活動のより一層の充実に努める。</p>	⇒ ICT等の思考ツールを授業で活用するための校内研修の時間を設け、子どもたちの探求のため、他者との対話や協働、自分の考えを明確にしたり、広げたり、深めたりする授業を目指す。【R6さいたま市学習状況調査「これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が90%以上】。

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		<p>①結果分析(管理職・学年主任等)</p> <p>②詳細分析(学年・教科担当)</p> <p>③分析共有(児童生徒の実態把握)</p> <p>職員会議・校内研修等</p>
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	<p>国語の「情報の扱いに関する事項」において、特に意見と根拠などの情報や具体と抽象などの情報をどうの関係について理解しているかどうかかかめる問題で理解度が高かった。数学の「数と式」において、特に文字を用いた式で表すことができるかどうかを見る問題での理解度が高かった。また、生徒質問紙の「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」の項目で肯定的な回答の割合が85%であった。今後子ども主体の学びになるような授業を継続していく。</p>	
思考・判断・表現	<p>国語では「話すこと・聞くこと」の領域において課題が見られた。特に自分の考えがわかりやすく伝わるように話すことに関して能力が不十分であるようである。数学では「数と式」において、特に目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立ち理由を説明することができるかどうかを見る問題で理解度が高かった。また、全体を通じて「思考・判断・表現」の問題では無回答率が高いため、考えたり説明したりする活動を重視していきたい。</p>	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	今年度より実施している朝チャレンジにおいて、生徒たちはそれぞれ自分に合った計画を立て、課題に取り組むことにも慣れ、順調に進められている。また、進捗シートを活用することで生徒の取り組み状況を把握している。	変更なし
思考・判断・表現	B	研修推進部主催によるICTの活用のための短時間の研修会を不定期ながら回数を繰り返すことで、いろいろなテーマの研修を実施できた。R6全国学力学習状況調査の生徒質問の「学習の中でICT機器を活用することについて」という7項目の質問で肯定的な回答の割合が全国に対して平均6pt以上上回っていた。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)